

自主事業報告書

事業名	新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家自主事業
(1) 実施状況 期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 自主事業収入 171,095,440 円(情報館170,477,030 円、マンガの家 618,410 円) 自主事業費用 165,877,138 円(情報館 165,347,458 円、マンガの家 529,680 円) 自主事業差し引き利益 5,218,302 円、指定管理料充当分 5,668,208 円 (2) 目的の達成状況 ■情報館 【ヒカルの碁 原画展】 開催初日より外国人来場者が多数来場し、大量の商品購入が見られた。個々の商品の利益率は低かったものの、販売数量が大きく伸びた結果、収入は大幅に増加した。 【葉屋のひとりごと展】 開催期間中に地上波でアニメが放映されていたことに加え、ファミリー層に人気の高いコンテンツであったことから、家族連れの来館が多く見られた。結果、当初の想定を上回る収入を確保することができた。 【新潟コンピューター専門学校学生連携制作グッズの販売】 新潟コンピューター専門学校と連携し、新潟市のキャラクター(古町と団五郎)と専門学校のキャラクター(笑ましい)とのコラボグッズを制作・販売した。 手軽な土産物として、手に取る観光客が多数見受けられた。 このほか、他の企画展における物販も全体的に堅調に推移し、年間を通じて、当初計画比約 1.9 倍の収入を得る結果となった。 ■マンガの家 マンガの家においては、従来とは異なり、著作権料が発生する企画展の開催を行わなかった。このため、コンテンツを用いた商品の販売(販売期間限定)は当初より想定しておらず、収入計画についても前年度のおおむね半分程度を見込んでいた。その結果、年間を通じた収入は概ね当初の予想どおりの水準で推移した。 (3) 利用者の反応・満足度と今後の対応 アンケート結果からも読み取れるとおり、利用者からは年間を通じて概ね高い満足度を得ることができたが、一方でキャッシュレス決済の利用頻度が年々増加しており、今年度は売上金額ベースで全体の約 60%がキャッシュレス決済によるものであった。これに比例して決済手数料の負担も増大しており、今年度は両館合計で約 320 万円と、過去最高額となった。手数料の増加が利益を圧迫している点は課題であるが、キャッシュレス決済は利便性向上や購買意欲の喚起など、売上促進の側面も大きい。今後については、コスト面への配慮を行いつつも、利用者の利便性を損なわない形での運用方法や、決済手数料の抑制に向けた方策の検討を進めていく必要がある。 (4) その他 従来使用していた POS レジシステムについて、メーカーが 1 年後にレジ事業から撤退する旨の発表があった。また、レジ本体についても経年劣化が進行していたことから、今年度の自主事業における利益金を活用し、物販で使用する POS レジ一式を更新した。 加えて、報道等において指摘されている中東情勢の不安定化に伴う「ナフサ不足」の懸念を踏まえ、ショッパ一等の資材について、一定量の事前確保を実施した。	

(4) 収支決算

(単位：円)

	大項目	予算額	決算額
収入項目	自主事業収入	89,864,000	170,108,355
	その他	726,000	987,085
収入合計（A）		90,590,000	171,095,440
支出項目	制作・物販原価	73,646,700	142,387,754
	自主事業経費	7,126,189	17,790,223
	転賃借料	28,572	30,953
	提案により指定管理業務 会計に充てる経費	7,725,006	5,668,208
支出合計（B）		88,526,467	165,877,138
差引（C=A-B）		2,063,533	5,218,302